下生とハ下界小生ゝ日といふ事なり梅を
うに羽黒権現を一神とする説なり又曰出日
若一王ハ天神七代薗伊弉諾伊弉冉尊
なりて地神五代の始天照大神の父母之
ハ三神合貴元年（西暦紀元前　年号なし）正月八日弘法大
日観音の三尊と顕れ給ふ久谷の溪洞に垂
微妙而能除大師より告る曰と云ゝ（若一王ハ神
初伊弉諾石
の上にあり天宥の時代所久谷より出ずして校しこれを放
ゆ別当を伊弉諾山若王寺と号に出寺天宥の草創之執行の
下に法を正智三尊中ハ合剣界工品工生ゝ所弘法大
伊弉諾尊なりて月山の頂上より出現とあり

[illegible]ハ胎蔵界大日なりて伊弉冉尊なり湯
殿山大日遍照尊なりと所り（三山雅集に或説を引て湯殿山
ハ大山津見命或大己貴命又蓑尖く出見尊ゝといふ羽黒記之
山雅集曰山を知て曰年なりを湯殿山の中ハ湯殿山の下に在
り伝れを器に伝る）右ハ南方宝幢如来世尊大士天照大神
宮羽黒山権現蓮門得益の日輪天子なりと
あり久遠の昔大士の誓願ありしかハ枝桑
の玉代を御ちんとて神神と為ふ者世乃
初益ゝ伝きされて薗初地神五代苗裔鸕鷀
草葺不合の皇女伯禽姫と現しなふ今
此所久屋ゝ高沢しなふ星宮をなる事数万